

報道関係各位
プレスリリース



東北芸術工科大学

2024年7月26日(金)

起業人材の育成・支援と、若者世代の思考分析・研究を通じて、 地方課題解決を推進する新たな附置研究機関を設立

東北芸術工科大学「イノベーション&コミュニケーション研究所」創設に伴い 7月31日(水)に報道関係者向けの会見を開き、概要説明を実施

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）はこの度、多機能型の附置研究機関「イノベーション&コミュニケーション研究所（略称 IC Lab.（アイシーラボ）」（以下、本研究所）を創設しました。

■研究所の機能

①イノベーション人材育成機能

本学はこれまでも、建築家、デザイナーなどクリエイティブ業界に多くの起業家を輩出してきました。今後は、人口減少が進む地方において、事業を通じて地方固有の課題解決策を図り、収益性を担保しつつ地域に対する持続的な価値提供を目指す起業家育成を本格化させます。

本研究所は大学において、起業家精神の醸成、ビジネスプランの構想力などのプログラム開発・提供を担います。7月には学内初となる全学生を対象としたビジネスプラン・コンテストを実施し、9月からは本研究所のフェロー（学外専門家）による起業家精神を学ぶための授業もスタートします。

②シンクタンク機能

本研究所では、Z世代、α世代*の動態調査・研究を行います。そこには大きく二つの目的があり、一つは、本学が“最も学生のことを知る大学”となるために、調査・研究成果を大学の教育・経営に活用していくこと。もう一つは、Z世代、α世代のインサイトを明確にし、若者の将来の目指す姿・思考の研究から東北の未来を形成する上でのヒントや実情を分析・発信し、地元産業界に対して今後台頭する世代の消費動向への早期理解をサポートし、企業経営・事業承継などに活用いただきます。

*「Z世代」とは、1990年代後半から2010年の間に生まれた世代。「α世代」は、2010年代序盤から2020年代中盤にかけて生まれた世代。

■研究所のメンバー

所長にはデザイン工学部の関良樹教授が、副所長には同じく緑川岳志教授が就任します。両教員ともシリアルアントレプレナー（連続起業家）です。

また、研究所の事業構想、教育プログラム開発等を支援する「フェロー（学外専門家）」に、渋谷昭範氏（株式会社リクルート所属）、堤達夫氏（ベンチャーキャピタルファンド STRIVE 代表パートナー）、早坂昌彦氏（東北大学特任教授、スタートアップ事業化センター副センター長）が就任します。

つきましては、研究所設立の報道関係者向け会見を7月25日（木）に開催します。本件を多くの方に知っていただきたく、取材広報のお願いを申し上げます。

●報道関係者向け記者発表会

- ・日時場所：2024年7月31日（水）14時00分～14時30分頃
- ・会場：東北芸術工科大学 本館6階 第1会議室
- ・出席者：中山ダイスケ学長、関良樹所長
＜司会＞五十嵐眞二理事（戦略企画担当）
- ・次第（予定）
 - 1) 挨拶 中山ダイスケ 学長
 - 2) IC Lab. 具体説明 関良樹所長
 - 3) 質疑応答

※会見では、研究所がどのような影響を山形に与えたいかについて解説します。

※ご参加に際しては、別添の申込書をファックス、またはメールにて、法人企画広報課までお申し込みください。

■問い合わせ先

法人企画広報課 担当：有澤、加藤

TEL：023-627-2246 FAX：023-627-2081

Email：public@aga.tuad.ac.jp

■【参考】東北芸術工科大学イノベーション&コミュニケーション研究所関係者



関良樹 (せき・よしき)

東北芸術工科大学イノベーション&コミュニケーション研究所所長

東北芸術工科大学 デザイン工学部教授

総合広告代理店にてコミュニケーション戦略、メディア戦略、デジタル戦略などの担務から統合コミュニケーション Division の責任者を経て、IT デジタルベンチャー、Creative ブティックを設立、その後、外資系コンサルティングファームにて Executive Director として多くの BtoB、BtoC クライアントの中期経営計画策定、新規事業戦略策定、デジタルトランスフォーメーション支援、CRM 戦略プロジェクトなどを歴任。仏 Cannes Lions 日本人審査員 2009, 2013.



緑川 岳志 (みどりかわ・たけし)

東北芸術工科大学イノベーション&コミュニケーション研究所副所長

東北芸術工科大学 デザイン工学部教授

大学卒業後、株式会社リクルートに就職。営業、企画、新規事業の事業責任者を歴任。その後、毎日新聞社に転職し、地域医療と地域コミュニティ活性化を担う株式会社毎日新聞ローカルを設立し、代表取締役社長に就任。5 年間の実務を経て退職し、地域を軸にしたマーケティング事業会社として株式会社ミトコンドリアを設立し、代表取締役として就任。医療領域でネットを活用したセカンドオピニオン事業を手掛けたほか、江崎グリコ、NTT ドコモ、CCC マーケティング、トヨタ自動車、日本ゼオンといった事業者の新規事業開発案件やマーケティング事業に従事。



渋谷昭範 (しぶや・あきのり)

株式会社リクルート所属、個人事業主

大学卒業後の 1997 年、NTT 持株会社の研究所に入社。ベンチャーを経て、2005 年にリクルートに入社。WEB マーケを担当後、2010 年に上海の現地子会社に赴任。その後、シリコンバレーとインドでベンチャー投資に従事。2014 年にソフトバンクに転職し、事業開発を担当。ベンチャー企業を経て、2017 年にリクルートに再入社し、ベルリンの子会社の CMO として赴任。2018 年に東京に帰国し、リクルートの新規事業提案制度「Ring」の企画・運営責任者に就任。2024 年からグローバル企画。リクルート時代に New-RING に入賞、ソフトバンク時代にイノベンチャー最優秀賞を受賞。「高校生 Ring」の発案者。



堤達生 (つつみ・たつお)

ベンチャーキャピタルファンド STRIVE 代表パートナー

1996 年慶応義塾大学文学部哲学科卒。1998 年慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 修士号取得。1998 年より三和総合研究所経営コンサルティング部所属。2001 年からグローバルブレイン株式会社にてベンチャーキャピタル業務に従事し、2004 年より株式会社サイバーエージェントにて金融事業の立ち上げを行う。主に FX 事業の立ち上げ、ベンチャーキャピタル事業の立ち上げ、事業責任者として同事業の拡大に従事した。2006 年より株式会社リクルートにて、新規事業開発に従事し、産学連携で設立したソーシャルメディアマーケティング会社の設立・運営、EC、デジタルコンテンツ、アドテクノロジー領域の新規事業企画、また米国にて、RECRUIT STRATEGIC PARTNERS を設立し、米国企業とのアライアンス による日本での事業開発を推進。並行して、投資子会社、リクルートインキュベーションパートナーズの代表取締役として 20 億円の資金を運用。2011 年よりグリー株式会社にて、CVC であるグリーベンチャーズの設立・運用責任者として 20 億円の資金運用を行った。2014 年からは、ベンチャーキャピタルファンド STRIVE を設立。3 本のファンドを設立し、合計 240 億円の資金を運用している。2023 年 Forbes 誌が選ぶ「最も影響力のある投資家ランキング」2 位に選出。



早坂 昌彦 (はやさか・まさひこ)

国立大学法人東北大学 特任教授

スタートアップ事業化センター 副センター長

経済産業省からビジネスの道を志してキャリアチェンジ。イギリスで MBA を取得後、情報系の JASDAQ 上場企業にて会長秘書を務めながら、新規事業を担当。その後、ビジネスコンサルティング会社の戦略コンサルタントを経てアニメーションのスタートアップで海外事業を展開。エイチ・アイ・エス代表取締役会長の澤田秀雄氏のもと、着任した長崎県のテーマパーク「ハウステンボス」では、ロボットが運営する『変なホテル』の企画・開業責任者を務める。長崎国際大学国際観光学科の准教授を経て、JR 東日本事業創造本部にて新規事業に携わった後、東北大学特任教授に就任。「アントレプレナーシップ」に関連する講義等を担当し現在に至る。

イノベーション&コミュニケーション研究所
報道関係者向け記者発表会 7/31 (水) 14:00~

参加申込書

FAX : 023-627-2081

※7月30日(火) 17:00 までにご返信ください

御社名 _____
代表者氏名 _____
携帯番号 _____
メールアドレス _____ @ _____
参加人数 _____ (人)

東北芸術工科大学 法人企画広報課 TEL: 023-627-2246 FAX: 023-627-2081

Email: public@aga.tuad.ac.jp